

緑地・環境デザイン学特論 (2単位)

担当者氏名 金子忠一・小林 章・山崎元也

◆学習・教育目標

緑地・環境のデザインは、身の周りの空間から国土空間にわたる多様な空間を対象としている。持続可能な環境を計画的に保全・創造するための、自然、文化、景観、エンジニアなどの多面的な観点から、自然と人間の共生する環境デザインの理論と技術について修得する。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

地域環境	景観形成	公園・緑地	デザイン
自然・緑	評価手法	エンジニアリング	施設設計

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習（予習復習）等の内容と分量
1	デザイン理論①	「The Design of Forest landscapes」の概要	デザイン理論①から⑩については、指定されたテキストの該当部分を事前に翻訳して理解しておく。 エンジニアリング理論①から⑤については、紹介された関連書籍や資料を十分に理解し、講義に備えること
2	デザイン理論②	Design principles/ Concepts of Forest Design	
3	デザイン理論③	The broad landscape/ Elements of Diversity	
4	デザイン理論④	Forest shapes/External margins of the forest Edges	
5	デザイン理論⑤	Design of open space/ Change of species	
6	デザイン理論⑥	Visual impact of forest operations/	
7	デザイン理論⑦	Felling and restocking/Roadsides and recreation	
8	デザイン理論⑧	Small woods and shelterbelts	
9	デザイン理論⑨	Landscape design process Design techniques	
10	デザイン理論⑩	Management of landscape design projects デザイン理論の理解度と総括	
11	エンジニアリング理論①	ランドスケープ・エンジニアリング概論	
12	エンジニアリング理論②	デザインとエンジニアリング	
13	エンジニアリング理論③	施設材料とデザイン	
14	エンジニアリング理論④	構造物とデザイン	
15	エンジニアリング理論⑤	ランドスケープ・エンジニアリングのこれから	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

『The Design of Forest landscapes』ほか テキストについてはガイダンス時に紹介する

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

/ / ()

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

小テスト(30%)、レポート課題(70%)として評価する。

◆オフィスアワー

授業終了時に相談することを基本とする。または造園科学科の担当科目を参照のこと。

◆その他受講上の注意事項